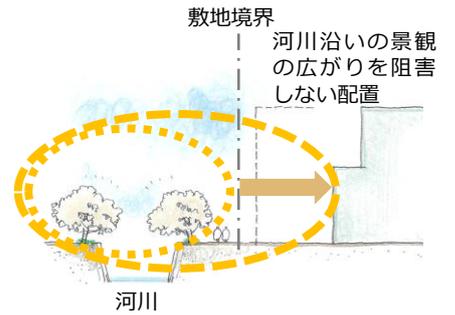
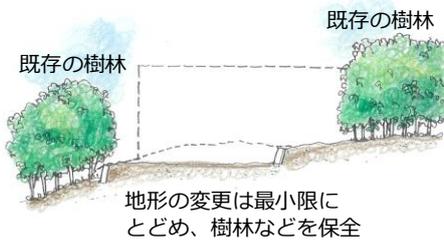
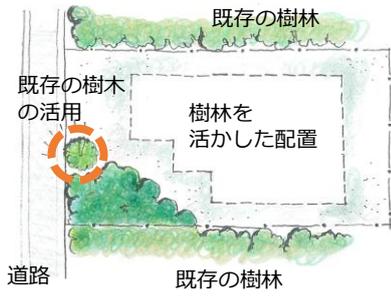


工業・産業系大規模建築物の建築等の配慮事項（各景観ゾーン共通）

配慮事項	
配置	<ul style="list-style-type: none"> □ 各景観ゾーンの配慮事項における「配置」欄に記載されている事項に則った配置とする。 □ 敷地境界から後退した配置とする。
外壁・屋根等	<ul style="list-style-type: none"> □ 光沢のある素材、反射する素材の使用や、過度なパターン・柄等による壁面構成は避ける。 □ 壁面の後退や分節・分割、屋根の形状の工夫等により、長大で単調な壁面構成は避けるとともに、圧迫感を与えない壁面構成とする。 □ 複数の施設を計画している場合は、施設群のまとまりや統一感のある形態・色彩とする。
屋外設備等	<ul style="list-style-type: none"> □ 建築物との一体化やルーバー等の設置による遮蔽等により、目立たないよう工夫する。 □ 屋根に太陽光パネルを設置する場合は、低反射の素材の使用や目立たない位置、色彩とする。
外構・植栽	<ul style="list-style-type: none"> □ 道路や河川等に面する部分は、みどりの創出やオープンスペースの確保等を図る。 □ 敷地境界に塀・柵等を設ける場合は、落ち着いた色彩のものとする。 □ 擁壁や法面を設置する場合は、圧迫感を与えないよう、形態の分節・分割や表面の仕上げを工夫する。 □ 敷地の外周部は、中高木の連続した植栽等により緩衝緑地を設ける。 □ 敷地内の資材置き場等の周囲には、周辺と調和する塀・柵や植栽の設置等により、調和を図るよう工夫する。
屋外広告物	<ul style="list-style-type: none"> □ 壁面に表示する屋外広告物は、企業名の表示等、必要最小限の数・大きさとするとともに、大きさや形をそろえ、設置位置を集約する。 □ 外壁を大きく使った電光やデジタルサイネージ等による表示は避ける。 □ 独立して設置する屋外広告物は、必要最小限の大きさとし、広告面とともにポール等の工作物の色彩に配慮する。
照明	<ul style="list-style-type: none"> □ 屋外に設置する照明は、照度等が周辺に影響しないよう工夫し、点滅又は動光による光源は使用しない。
色彩	<ul style="list-style-type: none"> □ 主要な部分は、極端な高明度及び低明度の色彩の使用を避け、周囲のみどりと調和させる。 □ 周辺のみどりとなじみ、街並みと調和するよう、屋根や外壁、その他の工作物、舗装等は、穏やかなやすらぎの感じられる低彩度色とする。 □ 強調色を使用する場合は、節度あるものとなるよう配慮し、できるだけ低層部に集約する。 □ 外壁の基調色に複数の色を使用する場合は、明度差をできるだけ抑える。

■ 景観づくりのイメージ

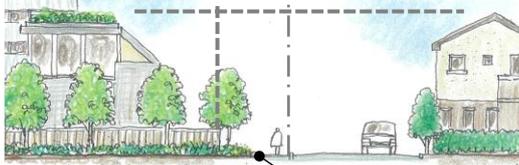
配置



市街地においては
周辺との調和を図る

敷地境界

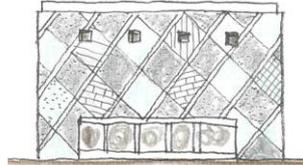
壁面後退させて周辺の
街並みと規模をあわせる



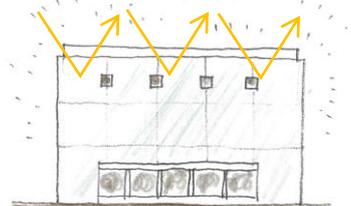
歩道空間の確保

外壁・屋根等

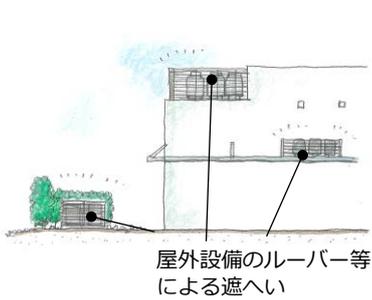
過度なパターンの
壁面構成は避ける



反射する素材の
使用は避ける

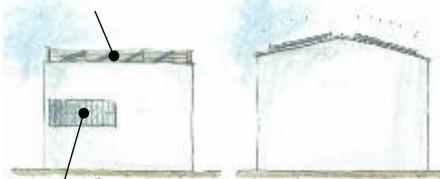


屋外設備等



太陽光パネルの
ルーバー等による遮へい

屋根勾配に沿った
太陽光パネルの設置



外構・植栽

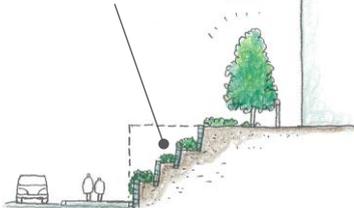
敷地境界

道路に面する部分の
オープンスペースの確保

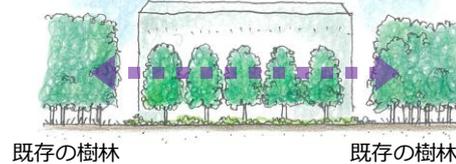


塀・柵の位置
の後退

擁壁の分節・分割

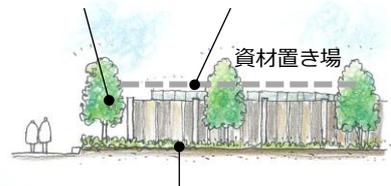


みどりのつながりを確保する



周囲の植栽

高く積み上げない

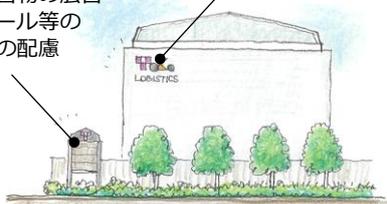


周辺と調和する柵

屋外広告物

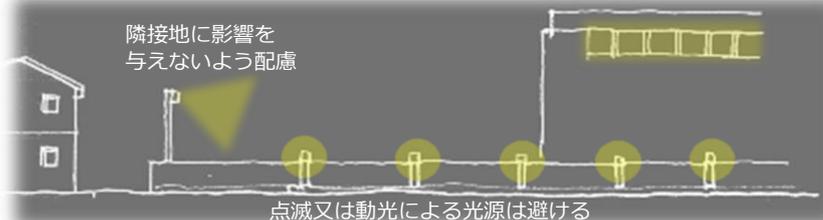
最小限の数・大きさ
による企業名の表示

独立広告物の広告
面とポール等の
色彩への配慮



照明

隣接地に影響を
与えないよう配慮



点滅又は動光による光源は避ける

■ 景観づくりのイメージ

